

第4回総合計画審議会 9月17日(水) 18:30～

出席者 貴田会長 廣江副会長 蘆田委員 岩野委員 小池委員 小林委員
白銀委員 鈴木(昇)委員 高橋委員 西村委員 花岡委員 林委員

欠席者 太田副会長 鈴木(昭)委員 谷口委員

①上下水道の整備

評価 C

・今後の取組について

委員

重要な社会インフラである水道は、芽室町では早くから取り組んだため、老朽化が進んでいる。成果指標では広げていく、充実させていくといっているが、今後は課題認識にもあるが、効果的なこの進捗率を成果指標に入れる必要があるのではないか。

次田課長

前期計画は水道の拡張となっているのでその成果指標だが、今後は安定供給が主体となっていくため、次期計画で検討する。

②消防・救急の充実

評価 C

・今後の取組について

委員

昔と比べ3倍の救急車発動となっている。タクシー替わりというのが増えているのか。

松久署長

高齢化が理由かと思う。人口の65歳以上が占める割合が67.6%である。

今後も人口は減るが、高齢者が増えていく。救急車を呼ぶことについて自身での判断も難しいところもある。救急安心電話相談があることなど救急車の適正利用の周知をはかりたい。

委員

出勤が増えた理由として、高温などの異常気象もあるのか。

松久署長

熱中症の件数 R5年28件 R6年16件 R7年21件 年20件程度で利用数を押し上げるほどでもないと思う。

③親切便利な行政サービス

評価 C

・今後の取組について

委員

23年決算から24年決算にかけて大きく増えているが、25年度以降の見込みは。

松田課長

増えた要因としてコンビニ交付の導入経費で2,500万円程度増えた。維持費の増はあるが、戻っていくかと思う。

④住民自治の実現と地域活力の維持

・評価について

委員

町民活動支援センターはいろいろ活動されていることはありがたいことだが、成果指標からD評価がいいかと思う

評価 D

・今後の取組について

委員

今後の取り組みに対する意見にある、第三者の立場とは。

河井

意見が言いづらい人に対し役場職員が引き出して欲しい。ということ。

委員

町民活動支援センターには144団体が加入し、住民主体の活動が活発である。他のまちからは評価が高い。官民連携ができて若い人たちの動きもできている。今後も大事にしていてもらいたい。

我妻課長

行政だけではなく住民の皆さんの活動が必要。町民活動支援センターは支える活動をしている。行政としては側面的、後方支援をしたい。

委員

時期計画では意識調査の数値だけではなく、町民がまちづくりに参加しているということが分かる新たな指標を考えてほしい。

地域運営組織について町の考え方を教えてほしい。国としても推進をしているが、北海道は少ない。どこにも文字に出てこないの、芽室町の取り扱いとしてはどのように考えていくのか教えてほしい。

委員

関連かと思うが、「住民自治の在り方そのものを見直す時期」となっているが方向性を教えてほしい。

我妻課長

本計画策定時には地域運営組織という概念がなかった。現在担当課として勉強、検討をしている。

住民自治を長く担ってきたのは町内会。今後の住民自治をどうするかを考えている。

今すぐどうこうではないが、連合会と協議をしながら、見極めながら、進めていきたい。指標も参考にしていきたい。

委員

地域運営組織を作って欲しいということではなく、そういったものも活用してはどうかということで発言した。

委員

町民活動支援センターと町内会の役割は明確に違う。町民活動支援センターはやりたいことをどういう風にやっていくか、町内会は生活に必要なことを皆で行う組織。一部の声に町内会を無くし、町民活動支援センターを中心にやってはどうかとあった。方針が違うので難しいと思う。

芽室町の町内会は民間組織である。他の自治体は行政組織。芽室町でも役場が仕切っていると思っている人が多い。町内会と役場は切っても切れない。町内会が全部なくなったら大変だと思っている。

現在、町内会連合会では町内会は刷新する取組を検討している。旧態依然とした内容を変えてくる。

町内会の人に足で稼いで刷新してくださいと思っている。新たな組織をつくるにしてもこれまでの経験をもとに新たな会にしていきたい。

⑤効果的・効率的な行政運営

評価 C

・今後の取組について

委員

住民意識調査の評価するのは抽象的かなと。職員の時間外の推移、年休の取得などはっきりした数値も可能ではないか。

有澤課長

次期計画での見直しを行う。可能な限り数値化できるものを使いたい。

委員

職員の町内会加入率はどうなのか。加入への対策はしているのか。

佐々木課長

職員の加入状況は把握していない。加入を強制できるものではないが、部下に対して必要性、重要性は話している。加入が望ましい姿だと思う。

委員

成果指標と住民の満足度の違いで評価が難しい。

成果指標についてはいろいろな意見が出ていると思う。新鮮な委員の意見を蓄積して見直しに反映してもらいたい。

⑥健全な財政運営

評価 D

・今後の取組について

なし

⑦担い手育成と農業の応援団

評価 D

・今後の取組について

委員

新規就農、第三者就農について、JAも含め行っているが、条件が整なわないと成果でるのは難しい。だが、いままで同様にとりくんでもらいたい。

⑧農業生産性向上と経営基盤支援

評価 C

・今後の取組について

委員

粗生産額は過去最高。去年も今年同様暑い夏である。振興センターを中心に営農指導を行った結果。役場も意を注いでいただいていると考える。

高橋課長

振興センターなどの営農指導に加え、町としても振興支援を長年行った結果であると思う。

⑨農地・土地改良施設の整備・充実

評価 C

・今後の取組について

なし

⑩地域林業の推進

評価 D

・今後の取組について

委員

先日防風林のイベントについて、専門家などを招いて、生物の多様性などを学ぶことができた。森林は身近なものではないが、多くの人が集まった。いい機会だと思うので、今後も専門家とも連携して、町民への学習の場を設けてほしい。